

## 件名：群馬DCに関連した地芝居イベントで、「歌舞伎の里 渋川」を発信

- 1 目的 渋川市文化協会では、渋川市文化資産発掘・活用事業「地芝居への誘(いざな)い—ここは渋川 歌舞伎の里—」を開催します。群馬DCに関連した群馬県文化資産発掘・活用事業の補助を受け開催するものです。
- 国指定重要有形民俗文化財「上三原田歌舞伎舞台」の映像作品や講演、ならびに地元歌舞伎団体の姿から、伝統文化を支える人々について学び、郷土への誇りと愛情を育むとともに、「歌舞伎の里 渋川」を発信します。
- またそれぞれの地域の伝統文化や文化活動に目を向ける契機とします。

### 2 事業の概要

○日時 8月6日(土) 午後1時開演

場所 渋川市民会館大ホール

入場無料

内容 ①講演「文化力こそ地域力～上三原田歌舞伎舞台が生きるまち・しぶかわに私が注目する理由」

映画監督 野田 香里さん

②公演 三番叟(さんばそう)

渋川歌舞伎 松村悠輔さん

寺子屋

市内4座選出役者による

③その他 歌舞伎衣装展示

○映画監督 野田香里さんによる映像を交えた講演を行います。上三原田歌舞伎舞台は建物の素晴らしさだけではなく、それを支える人々による「生きた文化」が今なお集落に息づき、全国の関係者から注目を集めています。こうした「地域力」を支えるものが何なのか、豊富な海外経験を持ち、映画という手法で人々の熱いハートを呼び覚ましてきた野田香里監督に、映像を交えて語っていただきます。

○伝統文化の継承に尽力する若い世代に注目します。未来の地芝居を担う高校生、渋川歌舞伎の松村悠輔くんが、めでたい三番叟(さんばそう)を舞い、会場を盛り上げます。

○渋川市文化協会歌舞伎部会による公演、菅原伝授手習鑑「寺子屋」を上演します。この一幕のために市内4座から選りすぐられた役者が共演します。

### 3 主催 渋川市文化協会

(会長／小林雅夫 事務局／生涯学習課 電話 22-2500)

4 実績 映画監督 野田香里さんは、現在、操作伝承委員会と共に上三原田歌舞伎舞台の記録及び映画作りを進めています。主な監督作品は映画『こんにちは歌舞伎～竹本清太夫みなかみへ行く』。自治体等での講演や大学での講義、小学校での授業など、幅広く活躍されおり、伝統文化を軸にした地域交流を推進しています。歌舞伎以外では、著訳書に『ニューヨークからの採用通知』『ハンナ・モンタナ』などがあります。

渋川市文化協会歌舞伎部会は、地元歌舞伎団体である渋川歌舞伎、半田歌舞伎坂東座、赤城歌舞伎、渋川子ども歌舞伎の4座が加盟しています。4座の選抜メンバーでの公演は、平成22年に行われた縁切寺満徳寺の特別公演などがあります。